

## 新年度がスタートして

副校長 細井宏一

4月9日(木)、平成27年度の入学式を挙行了しました。在校生全員、保護者、職員、来賓の皆様が拍手で迎える中、新一年生が少し緊張しながら入場し、式が始まりました。来賓の皆様から「入学おめでとう」と言っていたくたびに、新入児たちが声を揃えて「ありがとうございます」という姿が、とてもほほえましかったです。

ご来賓の副学長菅野敦様、また、PTA会長の近藤様からはお祝いの言葉をいただきました。6年生による楽しいアトラクションや、全校児童との掛け合いで歌う「1年生になったら…」の歌声は、新入生を迎えた喜びに溢れていました。新入児たちもとてもうれしそうでした。

新入生を迎え、児童数578名での学校生活がスタートしました。

入学式から1週間が経とうとしていますが、子どもたちはとても元気に一生懸命学習に取り組んでいます。1年生の保護者の皆様には、お迎えやお見送り、誠にありがとうございます。

本年度の学校経営方針は、昨年度を継続し、「グローバル社会に生きる力をはぐくむ」と「充実感、一体感、安心感のある学校」です。

本年度は、創立77周年という、語呂のよい数字。ラッキーなこと、よいことがたくさんあることを期待させてくれます。基本的には、本校のこれまで作り上げてきた体験的な学びを重視した実学教育を行っていきます。学校行事も従来通り行っていきますが、伝統を大切にしつつも、型どおりということではなく、改革にも着手してまいります。

その一つとして、本年度は、ブロック集会と引渡訓練を同時に土曜日に開催いたします。この目的は一言で言うと「保護者の方のブロック集会をしましょう」ということです。これは、震災時に電車バスが動かなかった際、児童は学校で保護者のお迎えがあるまで待機となりますが、保護者の方のお迎えが深夜になったり、翌日になったりすることも考えられます。その際、もし早くこられた保護者の方が近所の児童と一緒に迎えに来てご自宅でお預かりしていただくことができれば、保護者の方のお迎えが楽になったり、早く児童と会うことができるようになる場合があるのではないかと考えています。全国の附属学校副校長会でも、この取組の効果について話題になっておりました。詳細は、再度別紙にてご連絡いたします。

今、2～6年生は、1年生を生活団に迎える遠足「和楽会」に向けて準備しています。本校は、縦割りである生活団での活動が充実しているのが特色です。一緒に遊び一緒に活動をおこないます。その中で上学年は下学年の子どもたちに優しく対応し、それを受けた下学年が上学年への尊敬を感じたり、自分たちも同じようにならなければと感じたりすることができます。本校ならではの特色を生かし、子どもたちの「思いやり」の心をはぐくんでいきたいと考えています。

本年度も職員一同、力を合わせて子どもたちの教育にあたります。保護者の皆様のご支援ご協力をよろしく願いいたします。